

F-3 プログラム管理者の定めるウェブサイトにおける公開情報 ¹⁷			
情報提供項目		記述欄	該当箇所
(1) 全般	取組名称	公益社団法人 日本学生陸上競技連合 秩父宮賜杯第56回全日本大学駅伝対校選手権大会実施運営におけるカーボン・オフセット	表紙
	認証取得者名	公益社団法人 日本学生陸上競技連合	A-1
	取組の概要 A-6 項目にある一覧表も添付すること。	秩父宮賜杯第56回全日本大学駅伝対校選手権大会(注)実施運営において、テレビ中継による燃料・電力使用、運営車・伴走車（警察関係車両は除く））及び中継車、廃棄物運搬車の燃料、選手及び大会関係者の移動に伴って発生するCO2を、大会運営後の実測値を元に算出しオフセットします。 クレジットは被災地支援や選手の合宿地など関連性がある地域の森林クレジットを感謝の心をもって選定しています。全日本大学駅伝対校選手権大会は環境に配慮した運営を継続し、森林クレジットを活用したカーボン・オフセットに取り組むことで、日本各地の森林保全にも貢献できるよう、さらに取り組みを推進してまいります。 (注)全日本大学駅伝対校選手権大会とは、愛知・熱田神宮～三重・伊勢神宮の106.8km（8区間）を、全国25大学と全日本大学選抜、東海学連選抜の合計27チームにより競う駅伝大会です。	A-6
	適用したカーボン・オフセット第三者認証基準のバージョン	Ver 1.1	A-6
	認証有効期間	2025年 5月27日 ～ 2026年 5月26日	A-7
	オフセット主体※1	申請者	A-8
	オフセットラベルの用途	申請者作成・配布パンフレット（大会プログラム）・大会ウェブサイト、テレビデータ放送画面	F-2
(2) 排出量の認識	認証対象活動	会議/イベント	B-1
	認証対象取組内の温室効果ガス排出活動	◇ テレビ中継におけるヘリコプターのジェット燃料及び電力 ◇ 運営車・伴走車（警察関係車両は除く）及び中継車の燃料 ◇ 選手・大会関係者の移動（飛行機・電車等）に伴う電力・燃料 ◇ 廃棄物運搬車の燃料 ◇ その他の排出源（観客、その他の運営関係者等）	B-1
	算定対象範囲	◇ テレビ中継におけるヘリコプターのジェット燃料及び電力 ◇ 運営車・伴走車（警察関係車両は除く）及び中継車の燃料 ◇ 選手・大会関係者の移動（飛行機・電車等）に伴う電力・燃料 ◇ 廃棄物運搬車の燃料	B-2
	算定方法（算定式及び算定方法の根拠とし	【算定方法】 1. イベント運営に係る排出量	B-3 B-4

¹⁷ F-3 の全ての情報は、プログラム管理者の定めるウェブサイト(URL: <https://www.jcos.co/>)にて公開されますので、公開可能な情報のみを記入してください。

た文書名等)	(燃料) 燃料消費量 × GHG 排出係数 (電力) 消費電力量 × GHG 排出係数 2. 移動に係る排出量 (飛行機・新幹線・電車) 人数 × 移動距離 × 燃料消費率 × GHG 排出係数 (バス) 人数 × 移動距離 × GHG 排出係数 【算定根拠】 (人数) ◇ 1 チームの最小人数を 10 名(選手 8 名、マネージャー1 名、監督 1 名)とし、保守的に 20 名とする。 ◇ 運営者については運営担当チームの実数(東京 30 名、名古屋 25 名)を元に保守的に設定。 ◇ 全日本学連選抜と東海学連チームの参加人数は運営側から提出された実数を参照。 (移動距離) ◇ Yahoo Japan 路線情報(2024/12/9 時点) https://transit.yahoo.co.jp/ ◇ Google Map(2024/12/9 時点) https://www.google.com/maps ◇ 各大学の出発地一覧(大学、選手寮、マネージャー住所)の最寄り駅から金山駅(愛知県)までの距離を対象とする。 ◇ 出発地については、各大学(駅伝部・陸上競技部含む)の HP 参照 ◇ 領収書・請求書等を元にした第 56 回大会の報告書 (燃料消費率) ◇ 燃料使用量が不明な場合は、実際の走行距離をもとに、レンタカー業者規定の燃費値もしくは燃費法にて算出する。 (参照) 「カーボン・オフセットの対象活動から生じる GHG 排出量の算定方法ガイドライン(ver.2.0 平成 23 年 4 月 環境省)」 http://www.env.go.jp/press/files/jp/17357.pdf 環境省 温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル(Ver5.0)(令和 6 年 2 月) https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/manual (CO2 排出係数(電気)) 温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度 電気事業者別排出係数一覧 令和 6 年提出用 https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/files/calc/r06_denki_coefficient_rev10.pdf (CO2 排出係数(ガソリン、軽油、ジェット燃料)) 温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度 算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧 https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/files/calc/itiran_2023_rev4.pdf 運輸部門における二酸化炭素排出量(国土交通省) (CO2 排出係数(バス)) https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/environment/sosei_environment_tk_000007.html	
---------------	--	--

	算定排出量	39 t-CO ₂	B-5 D-1
(3) 排出削減	認証対象取組内の温室効果ガス排出削減の取組	◇状況に応じ照明の調節・消灯を行います。 ◇効率的な重機の使用を促進するなど、会場準備に係るエネルギー使用の効率化を図ります。 ◇運営車（伴走車）には低燃費車、低公害車を使用します。 ◇テレビや新聞等の媒体を通じて、省エネ・省資源への取り組みを訴えます。 ◇中継所の設営には、再利用可能な資材を利用します。 ◇分別回収したものは、リサイクル業者に引き渡します。 沿道の応援用小旗などすぐにゴミになってしまうグッズを使用しません。 ◇大会運営車に関してハイブリッド車の導入をします。	C-1
	消費者等又は寄付参加者への削減を促す取組※2		C-2
	認証対象取組外の温室効果ガス排出削減の取組	オフィス内の空調管理や照明管理、印刷物の削減などの活動を行っています。また、普段から学生への啓蒙も積極的に行っています。	C-3
(4) 埋め合わせ	無効化量、又は算定排出量に対するオフセット比率	39 t-CO ₂ 100%	D-2 D-3
	クレジットを認証した認証制度名とクレジットの種類	J-クレジット オフセット・クレジット (J-VER)	D-4
	クレジットのプロジェクト名(プロジェクト実施国・実施地域等の属地的情報を含む)	① 北海道有林森林吸収エコビジネス支援プロジェクト～「キキタの森」の間伐促進プロジェクト～(13t-CO₂) ② 長野県有林における森林経営活動(13t-CO₂) ③ 宮崎県門川県有林 森林吸収活用モデル事業(13t-CO₂)	D-4
	クレジットのプロジェクトタイプ(風力発電、木質バイオマス燃料転換、森林管理等)	森林管理	D-4
	クレジットの無効化(予定)日・無効化方法	① ～③2025年1月31日(合計39t) いずれも政府の無効化口座への移転完了	D-5
(5) その他必要	製品・サービス、又は会議・イベントのチケット等の販売価格		—
	消費者の価格		—

事項 ※3	負担(料金への上乗せ)の有無		
	その他支払いに関する事項 (申込みの有効期限、不良品のキャンセル対応、販売数量、引渡し時期、送料、支払い方法、返品期限、返品送料等)		—
	販売事業者名		—
	運営統括責任者名		—
	連絡先(所在地、電話番号、e-mail) ウェブサイトリンク先		—

※1 複数の者がオフセット主体であると主張する場合には、別々の主体が同じカーボン・オフセットの取組に関するオフセットを同じクレジットを用いて主張すること（ダブルカウント）を防止するため、オフセット主体ごとに帰属するオフセット量を明確にすること。

※2 クレジット付きオフセット認証における消費者等及び寄付型オフセット認証における参加者等に対して、温室効果ガス排出削減を促す取組を行うこと。

※3 景品表示法、特定商取引法及び消費者契約法の対象となるものについては必須（例えば、インターネット等の通信販売や店頭販売を行う場合）。